

6.1.2 存在・供用

1) 航空輸送需要等の想定

(1) 新石垣空港の需要予測

新石垣空港の旅客需要及び貨物需要は、想定される空港利用の最大時である平成33年度について検討を行った。

新石垣空港における旅客及び貨物需要予測値は表-6.1.2(1)に示すとおりである。

表-6.1.2(1) 旅客及び貨物需要予測値

年 度	平成33年度
旅客需要予測値 (千人)	2,597
貨物需要予測値 (トン)	13,736

(2) 日便数

航空輸送需要等の想定に基づき、平成33年度における定期便の日便数は表-6.1.2(2)に示すとおりである。

表-6.1.2(2) 定期便の日便数

路 線	日便数 (便/日)				合計
	中型ジェット (280席)	小型ジェット (160席)	プロペラ機 (50席)	STOL (19席)	
新石垣～本土	4	22			26
那覇	12	12			24
宮古		6			6
与那国		4			4
多良間			2		2
波照間				2	2
合 計	16	44	2	2	64

2) 運航方式及び飛行経路

(1) 運航方式

新石垣空港では、予定地での風向・風速データから得られたウインドカバレッジより、04側を主進入とし、滑走路使用比率は、表-6.1.2(3)に示すとおり設定した。

表-6.1.2(3) 滑走路使用比率

区 分	04側 ^註	22側 ^註
離 陸	81%	19%
着 陸	81%	19%

注. 04、22は滑走路の番号を表す。滑走路の番号は北を00として時計回りに北からのなす角度を10分の1にして表示する。したがって「04」とは滑走路が北から40°の方向に向いており、滑走路の反対側は40°に180°加えることから、「22」(220°)と表示される。